

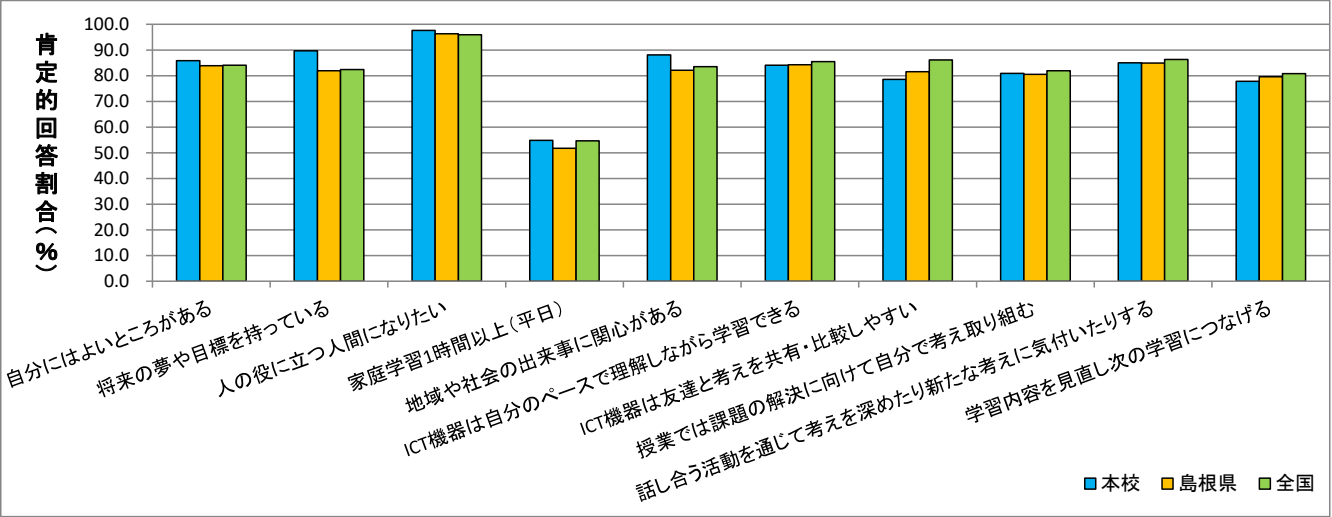
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○文章を読み、問われている条件に合うものを選んで答える設問においては、正答率が全国平均と同じもしくはそれを上回る結果であった。文章を読み解く力の定着が見られる。 ●漢字を文章中の意味に合わせて正しく書いたり、心に残ったことを理由を合わせて書いたりすることに課題がある。 ●語彙力や漢字の活用力、表現力等がやや弱い傾向にある。	・語彙力を増やすとともに漢字を活用する力をつける。 ・授業の中で、自分の力で文章を読み解き、自分の考えを表現する機会を増やす。
算数	○観点別に見ると、知識・技能、思考・判断・表現力ともに、概ね全国平均と同程度の正答率であった。 ●問題文を読み解く力や、粘り強く読み解いて問題を解決しようとする力に課題がある。	・問題に出会った時、自分でイラスト・図・表などに表し問題場面の状況を読み解ける力をつける。 ・説明する場を増やし、獲得した知識や技能を活用できるようにする。

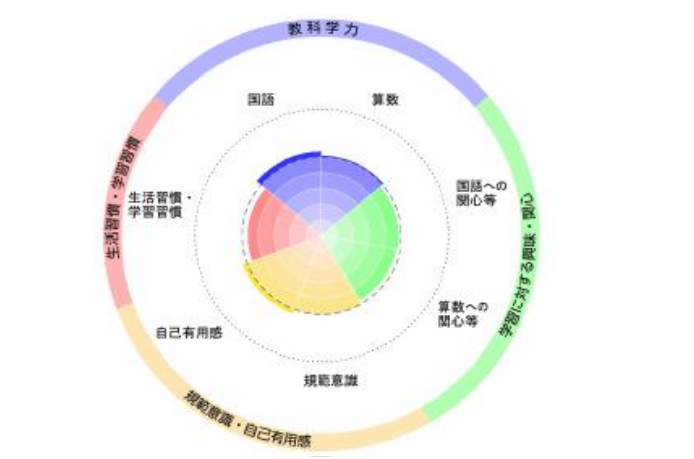
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○自分自身を肯定的にとらえ、日々の生活や学習に対して前向きに取り組むことができている児童が多い。 ●授業の中で互いの考えを比較・共有したり、学習内容を見直して次の学習に繋げたりする機会を十分に保障する必要がある。 ●家庭学習に取り組む時間が十分ではないので、自分の力を伸ばすための家庭学習に取り組めるよう指導していく必要がある。	・問い続け、仲間と対話しながら主体的に問題解決していけるような授業づくりを行う。 ・家庭学習が自分の力を伸ばすために必要な学習となるよう、指導するとともに、家庭への呼びかけも行う。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・国語、算数共に、ほぼ全ての設問において無回答者がいた。授業の中で1人ひとりが自分の考えを表現できるようにしていただくだけでなく、日々の学校生活の中で、自分の考えをもち行動することや自分の考えを伝えていくことの大切さを指導していく。

【受検者数】
125 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。